

第1回市町村林務担当 職員研修（現地研修）

高性能林業機械による間伐作業システム

森林組合について

①森林組合とは

「森林組合法」に基づき、森林所有者が出資し、組合員となって組織されている協同組合

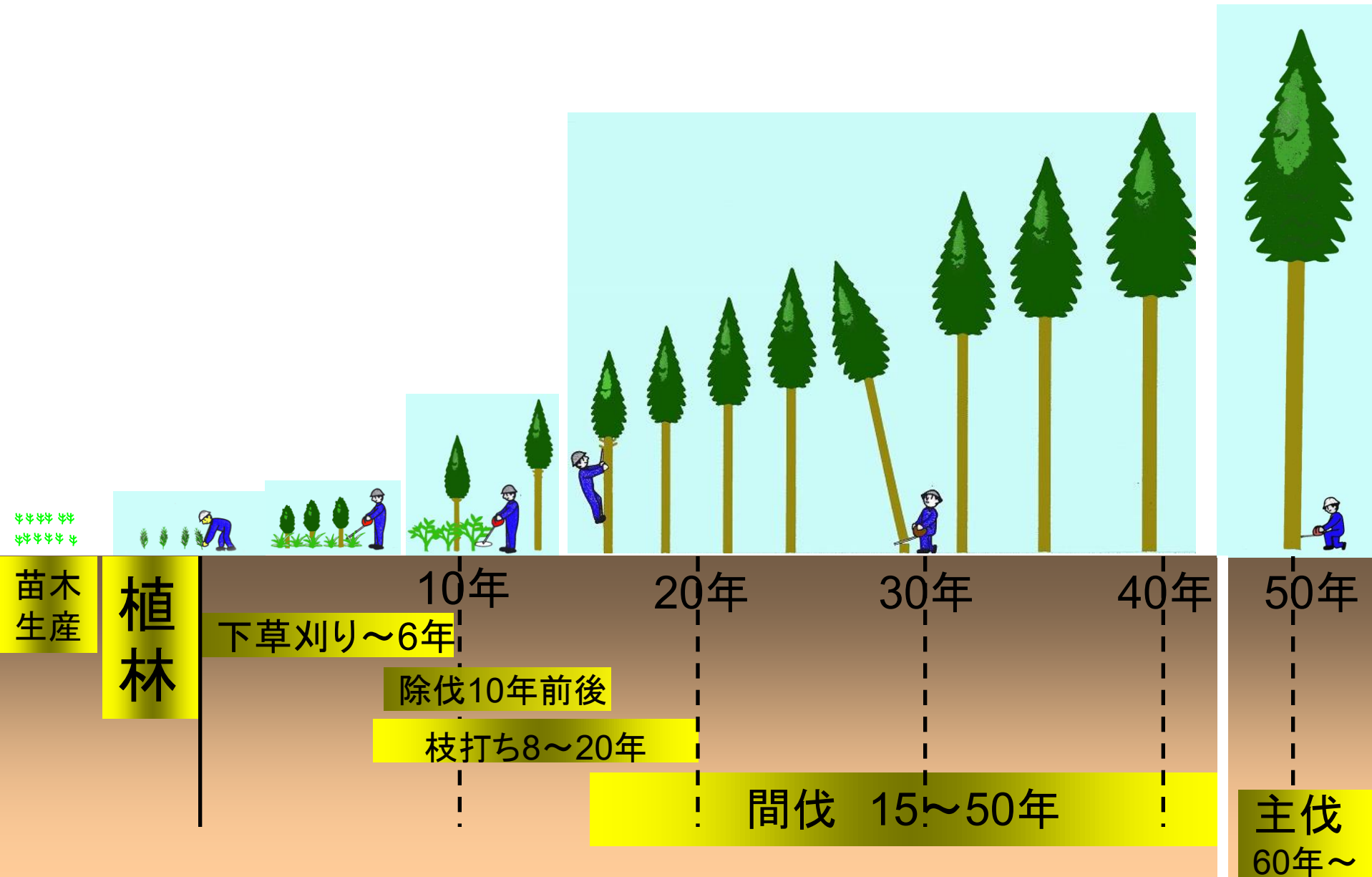
②目的

- ・森林所有者の経済的・社会的地位の向上
- ・森林造成を通じた、多面的機能の発揮
→国民経済の発展にも寄与

③主な活動

組合員である森林所有者に対する経営指導、森林施業（植林、下刈、間伐など）の受託、林産物の生産・販売・加工等

森林施業の流れ



伐採の種類

○除伐：育成の対象となる樹木の育成を妨げる他の樹木を刈り払う作業。

一般に，下刈りを終了してから，植栽木の枝葉が茂り、互いに接し合う状態になるまでの間に数回行われる。

○間伐：育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採する。

残存木を育てることを主目的とする伐採（保育、搬出）。

○主伐：利用期に達した樹木を伐採し収穫する。伐採後に更新を行う。林木を収穫するための伐採（皆伐、択伐）。

切捨間伐と搬出間伐

	保育間伐 (切捨/集積)	(搬出) 間伐
方法	伐った木を搬出せずに、林内に放置する。	伐った木を搬出して利用する。
メリット	表層土の流出を防ぐ。 土にかえり、残存木を育てる肥料になる。	間伐収入がある。
デメリット	間伐収入がない。	路網整備等の費用や手間がかかる。

高性能林業機械

- 従来のチェーンソーや刈払機等の機械に比べて、作業の効率化、身体への負担の軽減等、性能が著しく高い林業機械（林野庁）

（例）



フォーク収納型
グラップルバケット
（作業道開設）



プロセッサ
（枝払い・玉切り）



フォワーダ
（集材）

- 枝払い：伐倒した樹木の枝を幹から切る作業
- 玉切り：用途に応じた長さに切断する作業
- 集材：玉切りした丸太を土場や林道まで運ぶ作業

森林のはたらき



スギとヒノキの特徴

	葉	樹皮	種の形	樹形	適地
スギ					山地の 谷や沢 沿いなど湿潤な場所
ヒノキ					山地の 尾根や 山腹など乾いた場所